

# 部門紹介 ～栄養科～

管理栄養士 細田 佳江

「今日は何食べよう？」と考えるのは楽しみであると同時に、自分やご家族の健康を考えて頭を悩ませる問題です。最近では、栄養情報が手に入りやすくなり、何が自分に適しているのか疑問をもつことも多いでしょう。

栄養科では、病状に合わせた食事の見直しや提案を1対1で個別に外来・院内栄養指導で行っています。患者様それぞれ食生活が異なりますので、食生活に合わせた栄養指導を心がけています。

よく、はじめはどんなことを



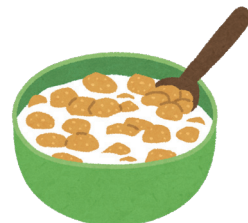
怒られるのか怖かった、というご意見を聞きます。栄養指導後には「来てよかった」「安心した」とおっしゃっていただくことが多く、私たちもお役に立てて良かったと嬉しく感じています。

平成28年度の診療報酬改定により、糖尿病や脂質異常症などの治療食だけでなく、低栄養・嚥下障害・癌を患う方などにも健康保険で栄養指導を行えるようになりました。今や栄養指導はただ痩せるのではなく、いかに健康的になるかを患者様と一緒に考えていく時代になりました。



そのほか、入院している患者様の食事が適切なものであるか、多職種と相談しながら給食を提供しています。入院期間が長い患者様も多いため、楽しめる、季節を感じられるメニューにしています。月1回は行事食を提供していますので、当院の管理栄養士が書いた記事をご参照ください。

年に4回嗜好調査を行っており、献立に反映させています。ご意見より、コーンフレークを提供したところ他の患者様からも好評でした。



また、看護師さんやワーカーさんから「食べられないものがあるから相談に乗ってほしい」「～さんの食欲が落ちている」など情報をいただき、患者様と相談しながら食形態をかえたり、デザートをつけてみたりと、少しでも食べていただけるようにしています。

特に、褥瘡の治りが遅い患者様や、低栄養の患者様に対しては、医師・看護師・薬剤師・言語聴覚士・検査技師と栄養サポートチームを結成し、患者さんに対応しています。

食事でお困りの際は、  
私たち管理栄養士2人が  
ご相談に乗ります！

